

令和5年度第三次あきた売れる米づくりランクアップ運動

表彰団体について

令和5年度第三次あきた売れる米づくりランクアップ運動の表彰審査に当たり、13JA系統、4主食集荷系統の合計17団体から合計470点の調査試料が提供されました。

令和6年2月15日開催の審査委員会において、表彰審査基準に基づき①整粒歩合 ②食味値 ③種子更新率 ④栽培履歴記帳割合 ⑤品質事故件数を点数化し合計得点の高いものから順に「最優秀賞」2団体、「優秀賞」2団体、「優良賞」3団体、「努力賞」4団体の合計11団体を表彰することとしました。

表彰団体には、令和6年3月4日開催の褒賞授与式において賞状並びに副賞が贈呈されました。



あいさつ（小松本部長）



審査報告（松本審査委員長）



最優秀賞（㈱大潟村カントリーエレベーター公社）



最優秀賞（(合)照井福治商店）

令和5年度「第三次あきた売れる米づくりランクアップ運動」
表彰団体

☆ 農業協同組合系統の部

	受賞者名
最優秀賞	株式会社大潟村カントリーエレベーター公社
優秀賞	かづの農業協同組合
優良賞	こまち農業協同組合 秋田しんせい農業協同組合
努力賞	うご農業協同組合 秋田ふるさと農業協同組合 あきた湖東農業協同組合

☆ 主食集荷商業協同組合系統の部

	受賞者名
最優秀賞	合資会社照井福治商店(美郷町)
優秀賞	株式会社丸富商店(横手市)
優良賞	有限会社安保金太郎商店(鹿角市)
努力賞	伊藤 実(大仙市)

審 査 報 告

令和5年度「第三次あきた売れる米づくりランクアップ運動」並びに第32回「秋田県優良水稻種子生産共励会」の褒賞授与式にあたり、二つの審査委員会から、審査結果の概要をご報告申し上げます。

はじめに、「第三次あきた売れる米づくりランクアップ運動」であります。本運動は平成30年度から令和2年度におこなった「第二次あきた売れる米づくりランクアップ運動」を継続し、令和3年度から第三次としておこなっているものです。「種子更新率100%」「整粒歩合80%以上」「食味値80以上」「栽培履歴記帳100%」「米穀保管倉庫における品質事故ゼロ」を目標に掲げ、顕著な成果をあげた集荷業者を表彰するものであります。

本年度の県内稲作は、6月の日照不足、7月の集中豪雨、8月以降の猛暑などの気象要因により、12月31日現在で水稻うるち玄米の1等米比率が55.9%と品質が大きく低下しました。

そうしたなか、13JA系統、4主食集荷系統の17団体から合計470点の調査試料を提供していただきましたが、これらの分析結果においても整粒歩合が平均65.9%と前年より7.5ポイント、食味値が平均73.7と前年より0.2ポイントとともに前年を下回りました。

審査委員会では、表彰審査基準に基づき①整粒歩合 ②食味値 ③種子更新率 ④栽培履歴記帳割合 ⑤品質事故件数を点数化し合計得点の高いものから順に「最優秀賞」2団体、「優秀賞」2団体、「優良賞」3団体、「努力賞」4団体の合計11団体を表彰することとしました。

次に、「秋田県優良水稻種子生産共励会」であります。本共励会では、種子生産者の優良種子に対する認識と生産技術を高め、秋田米の一層の商品性向上と声価の高揚に資することを目的に、平成4年度から開催しており、優秀な種子生産者を表彰するものであります。

本年度は、各JAから推薦された45点の出品財を対象に審査細則及び審査基準に基づき①ほ場確認 ②発芽率の計測や整粒歩合を鑑定する生産等基準検査 ③生産量や農産物検査結果を確認するその他審査を行い、それぞれの成績を点数化しました。合計得点の高いものから順に「優秀賞」5点、「奨励賞」5点の合計10点を優良種子生産者として表彰し、優秀賞には併せて「特別賞」を授与することといたしました。

最後に、米の消費量が年々減少する中で、産地間競争は一層厳しさを増していくことが見込まれます。高品質な米を安定して供給し続ける産地であるためには、優良種子の確保に始まり、栽培管理や乾燥調製・保管等、各段階における適切な指導や管理が益々重要となっております。

受賞された皆様におかれましては、今回の受賞を契機に、なお、一層の研鑽を重ねられ、引き続き秋田米のブランド力向上にご尽力くださいますようお願い申し上げます。審査報告といたします。

令和6年3月4日

「第三次あきた売れる米づくりランクアップ運動」審査委員長

秋田県農業試験場 作物部長 松本 眞一

「秋田県優良水稻種子生産共励会」 審査委員長

秋田県農業試験場 原種生産部長 伊藤 千春